学校通信
けやきの子
4月
令和３年4月9日
大田区立石川台中学校
発行　経営支援部

学校には、感動がある！

これからの社会に貢献する人間性豊かで品格ある たくましい人の育成に向けて

校長　村上昭夫

　春爛漫の中、令和３年度を迎えました。本年度は特別支援学級が開級し、全７学級でのスタートとなりました。よろしくお願いいたします。
新型コロナウイルス感染防止については引き続き保護者の皆様のご協力のもと、引き続き力を入れてまいります。
さて、６８名の新入生を迎え、活気がわいてきました。入学式での私からお伝えした内容を以下に掲載いたします。

「学校には、感動がある！」
本校には、良き伝統があります。それは、上級生が下級生のお手本となって、日々の学習、生徒会活動や部活動、行事になどに積極的に取り組んでいるということです。三年生、二年生は、実に頼りになる先輩です。
本校の教育目標は、
　「思考力に富む生徒を育てる。実行力のある生徒を育てる。情操の豊かな生徒を育てる。」です。これを受け、「感動」ある学校を作り、「これからの社会に貢献する人間性豊かで品格あるたくましい人」として皆さんを育てることを使命としています。
そのスタートにあたり、私から三点お話します。
一点目です。
学校は勉強するところです。社会人として生きていくために必要な基礎を身につけるところです。論語に「これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず。」とあります。勉強を楽しめる段階に高められるといいな、と思います。毎日の授業に積極的な態度で臨むとともに、家庭学習の時間を増やしてください。
　二点目は、生活についてです。学校は、集団生活の場です。ぜひ、あいさつをする、時間を守る、人の話をきちんと聞く、責任を果たす、そんな当たり前のことが当たり前に、さりげなく実行できる人になってください。
また、「いじめ」は許しません。多様な人々がいる中で理解しあい、協力して物事を高いレベルでやり遂げてください。

文部科学省の調査によると皆さんの世代では、
「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言う」など言葉によるいじめが一番多いとのことです。
皆さんが「人があたたかく感じる言葉」や、「人を励ます言葉」を多く口にすれば「いじめ問題」は起きないと思います。感動ある学校にいじめは必要ありません。
いじめは許さない、ということをここで宣言しておきます。
「いじめ問題」のない学級、学年を皆さんが作り上げてください。

三点目は、健康についてです。充実した学校生活を送るには、強い心と体が必要です。食事や睡眠など、規則正しい生活を送り、体育の授業を始めとして、運動を心がけ、学校行事、生徒会活動、部活動、ボランティア活動などにも積極的に参加し、何が起こっても動じない、辛いことにも負けず、プラス思考で取り組める心とたくましい体を作りましょう。
これからの学校生活は、心が潤う出来事がたくさん待っています。しかし、時には超えなければならない試練もあると思います。決して人はひとりぼっちではありません。人と関わり、協力し助け合う活動を通して、乗り越えてほしいと思います。
私達は、これまで経験したことのない状況の中、
・感染防止のためにできることを確実に行い、
・不測の事態にも冷静に考え、落ち着いて物事を進め、
・問題解決のために多くの時間をかけて働いている方々に感謝し、
・復習や予習にしっかりと取組み
・家庭での自分の役割を十分果たすことを心がけていくことが求められています。
この経験は皆さんを大きく成長させてくれます。みんなで一緒にかんばっていきましょう。

さて、保護者の皆様、お子様のご入学、本当におめでとうございます。

子どもたちは、この三年間で、心も体も大きく成長します。その中で、失敗したり悩んだりして、心が揺らぐときがあるかもしれません。保護者の皆様におかれましても、経験が子どもを成長させるのだ、というご理解のもと、温かく励ましながら自立を促すという視点で子どもとかかわっていただけたらと思います。

三年後、皆様が、「石川台中学校で学んで良かった」と、この場所で感動の涙に包まれながら、生徒が巣立っていくよう、私たち教職員一同は、本校のよい伝統と校風を受け継ぎ、安全で安心できる学校として取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、式辞といたします。

特別支援学級が開級し、開級式を行います

本校では令和３年度に特別支援学級（知的・固定）を開設いたしました。その開級式を４月１４日（水）午前１１時より実施いたします。開級を祝うとともに、生徒・保護者の皆様に学級での学習や生活、自己の成長への期待を持っていただくためのものになります。式には教育長様もご参加いただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。